



気軽に学べて、気軽に相談

介護現場に必要な **身近な医療** を

介護職向け医療教育サービス

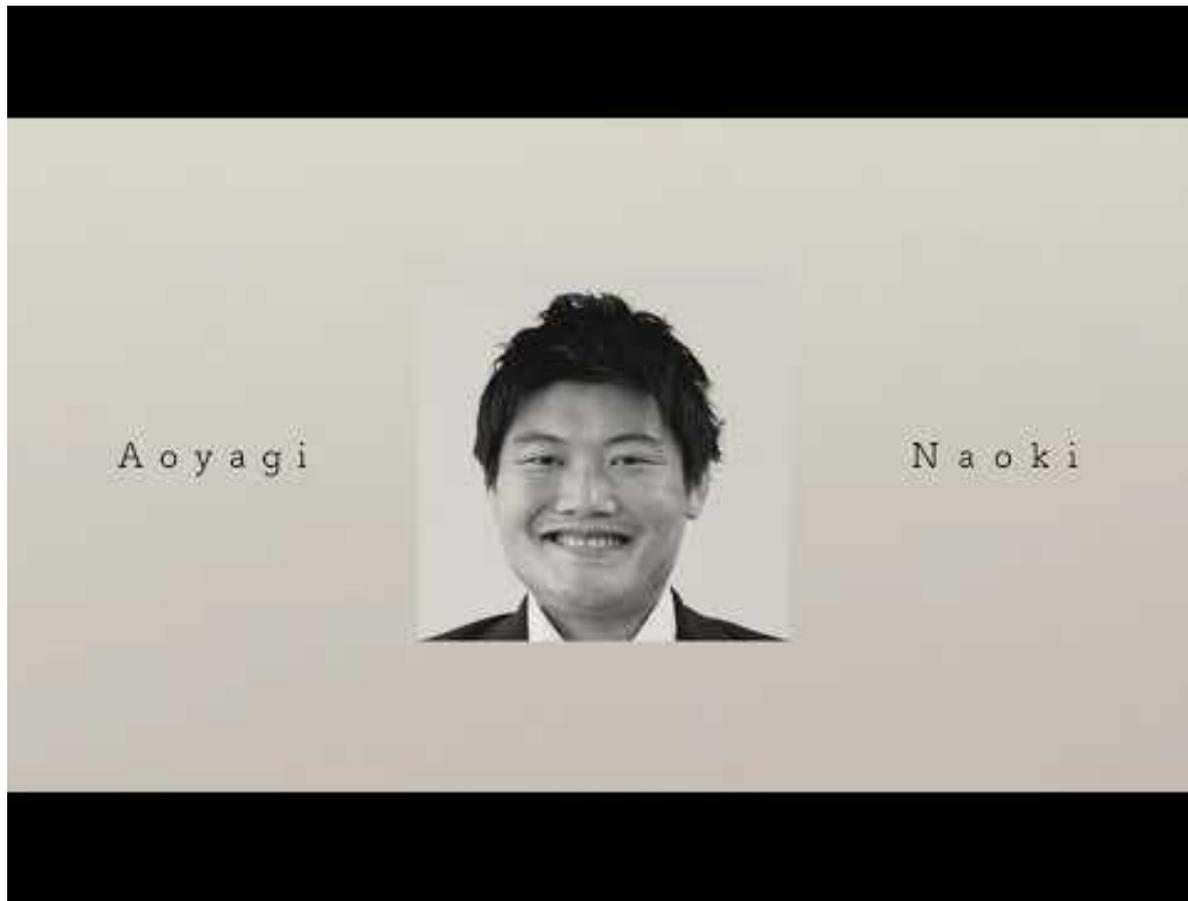
**Dスタ (DM-study)**



1. 会社・サービスのご紹介
2. 介護現場の現状
3. サービス概要
4. 想定導入スケジュール

# 1

## 会社・サービスのご紹介



会社名	ドクターメイト株式会社 (DoctorMate Inc.)
東日本橋オフィス	〒103-0004 東京都中央区東日本橋三丁目7番19号 東日本橋ロータリービル9階
設立	2017年12月8日
代表	皮膚科医 青柳 直樹
資本金	10億69百万円（資本準備金含む）
事業内容	介護事業所向け医療サービスの提供
URL	<a href="https://doctormate.co.jp/">https://doctormate.co.jp/</a>

# サステナブル・カイゴ

～持続可能な介護のしくみを創る～

医療×介護  
連携の強化

職場改善による  
人材の確保

カイゴを  
「世界」へ

## 医療対応支援

介護現場の医療体制を遠隔サポート



専門医師に  
チャットで相談

日中医療相談



看護師に  
電話で相談

夜間オンコール代行



## 医療教育支援

介護現場の医療教育/スキルUPをサポート



独自専門プログラムで  
学習が簡単

学習状況を自動一括管  
理自可能



# 2

## 介護現場の現状

1 介護現場の人手不足、定着の仕組み化

2 介護職員の医療知識不足、仕組みの不足



ヒト

2025年問題1

介護人材が **32万人不足**

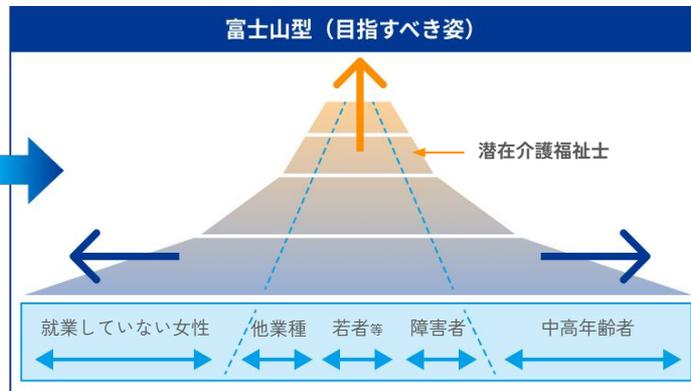
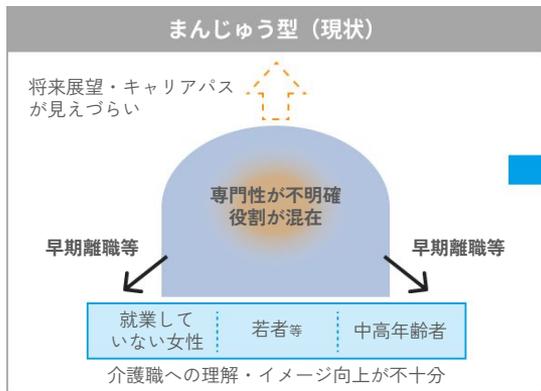
産業全体の有効求人倍率が**1.28倍**に対して、**介護業界は3.68倍**という完全な売り手市場になっている

※2022年1月時点

- 新規雇用を増やすだけでなく

## 既存人員の定着は必須

## 介護人材確保の目指すべき姿



- 専門性の高い人材
- 基礎的な知識を有する人材

既存人員定着のためには

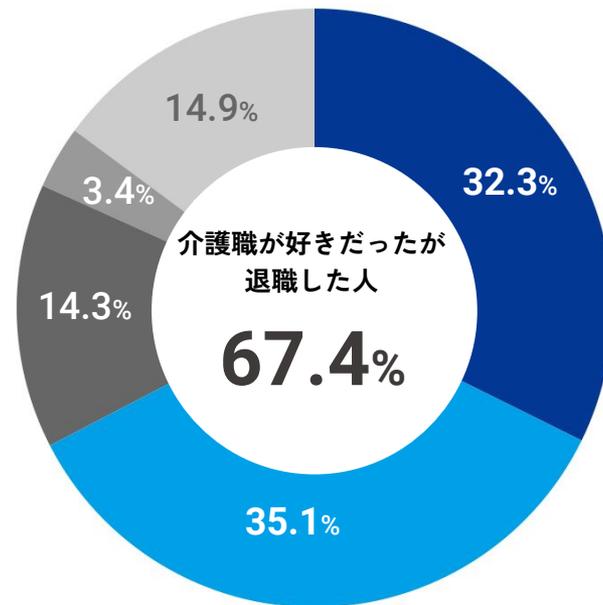
**個別最適な  
キャリア支援が不可欠**

参入促進	1.すそ野を広げる	人材のすそ野の拡大を進め、多様な人材の参入促進を図る
	2.道を作る	本人の能力や役割分担に応じたキャリアパスを構築する
労働環境・ 処遇の改善	3.長く歩み続ける	いったん介護の仕事についての者の定着促進を図る
	4.山を高くする	専門性の明確化・高度化で、継続的な質の向上を促す
資質の向上	5.標高を定める	限られた人材を有効活用するため、機能分化を進める

## 介護離職の実に約70%が非ネガティブ要因

ご自身が介護職を離職した際の経験について、  
当てはまるものを次の中から選択してください。

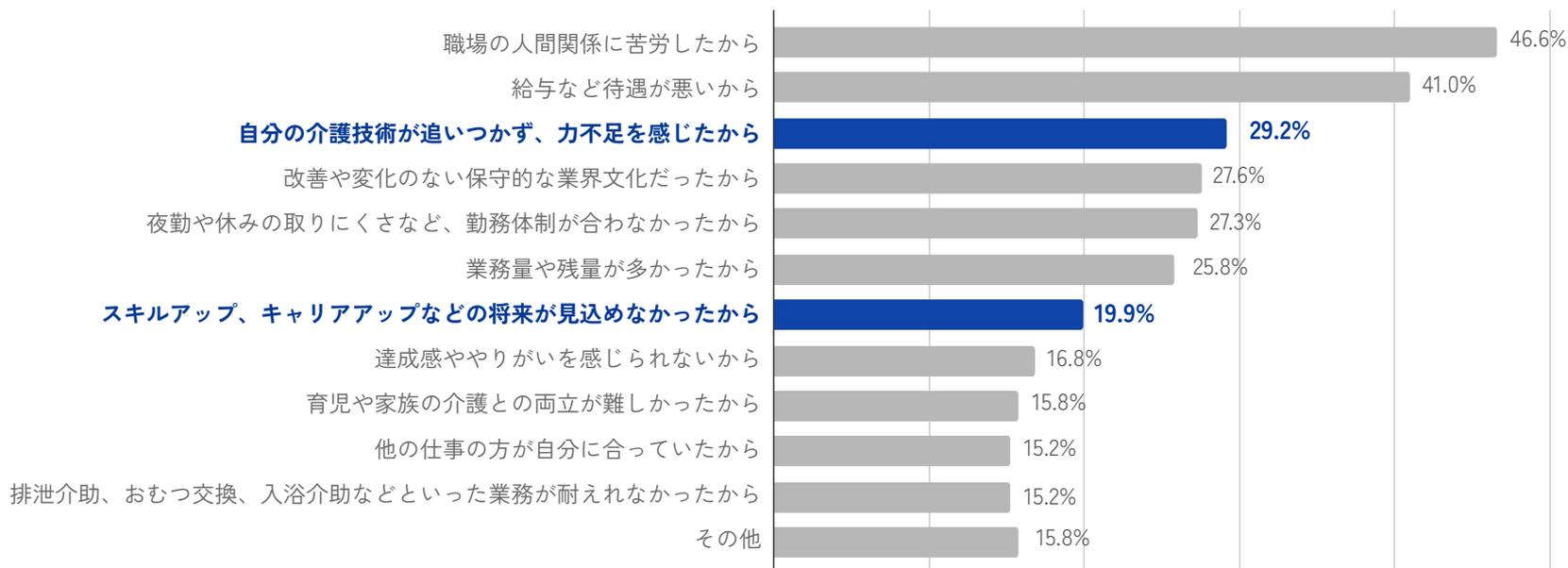
- 介護の仕事がとても好きだったがやめた
- 介護の仕事がどちらかという好きだったがやめた
- 介護の仕事がどちらかという嫌いでやめた
- 介護の仕事がとても嫌いでやめた
- 介護の仕事が好きでも嫌いでもないがやめた



出典：【介護職の離職に関する実態調査2020】離職経験者の約7割が「介護の仕事が好き」、魅力は「資格の活用」や「やりがい」  
現場職員の多くは仕事内容に満足するも、人間関係・給与・介護技術不足が理由で退職

## 介護離職の約3人に1人が教育/キャリア観点の不安起因

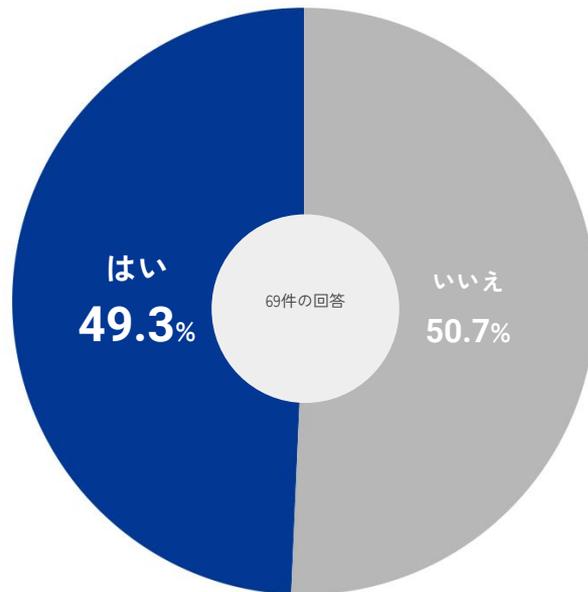
Q. 離職した理由について、当てはまるものを次の中から選択してください



出典：【介護職の離職に関する実態調査2020】離職経験者の約7割が「介護の仕事が好き」、魅力は「資格の活用」や「やりがい」 現場職員の多くは仕事内容に満足するも、人間関係・給与・介護技術不足が理由で退職

施設管理者の約半数が教育カリキュラム企画に負担感あり

Q. 研修の企画や準備に負担を感じていますか？



リサーチソース：自社セミナーアンケート N=70 対象=介護施設管理職、ケアマネジャー、看護師、介護職員 リサーチ日=2021年10月4日

少子高齢化で現場は  
人手不足/新規採用は困難

既存人員の定着が必須  
→離職背景は介護が嫌だからではない

離職理由は成長や将来の  
キャリアが見えづらいから

施設管理者も理解しているが、  
体制整備が大変

1 介護現場の人手不足、定着の仕組み化

**2 介護職員の医療知識不足、仕組みの不足**



コト

### 2025年問題2

要介護度人数が15年で  
**約3倍に増加**

入院期間が30年で  
**約半日に短縮**

介護施設の  
**医療依存度が急激に  
増加**

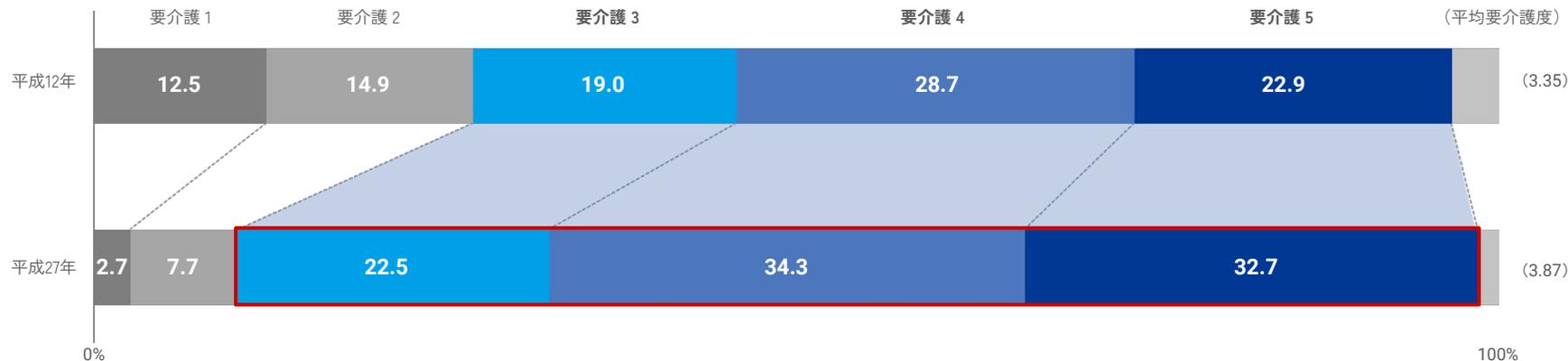
- 介護職員も介護教育だけでなく

## 医療教育の習得は必須

介護現場の病院化は加速、医療対応を多く求められる

特別養護老人ホームでは要介護度3以上が15年で

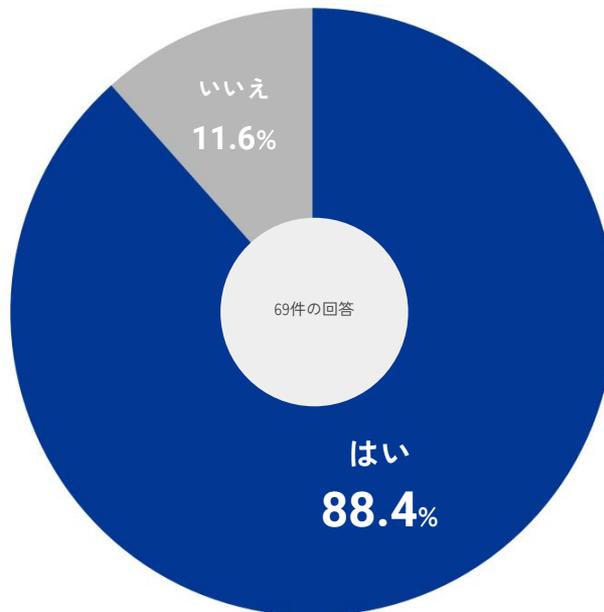
73%→**90%に増加**



出典：介護サービス施設・事業所調査

実際に施設管理者の約90%が教育に医療知識が必要と回答

Q. 教育・研修の中で特に医療知識の必要性を感じますか？



リサーチソース：自社セミナーアンケート N=70 対象=介護施設管理職、ケアマネジャー、看護師、介護職員 リサーチ日=2021年10月4日



要介護度上昇で現場は  
病院化/医療対応が増加

実際に特養では  
約90%が要介護度3以上

施設管理職も約90%が介護職員の  
医療知識習得が必要と回答

一方、介護職員が  
医療知識を学べる環境は皆無

介護職員の医療教育



キャリア支援

- 施設スタッフの医療知識/スキル習得の学習機会提供
- スキルレベルに応じた学習モデル→キャリアステップの設計

# 3

## サービス概要

## 従来のサービス

介護職員の介護教育のみ



キャリアアップの概念なし



学んだ内容が定着しているか判別ができない



## DM-Study

①介護職員の介護＋医療教育

②レベル別プログラムで  
キャリアUP、成長を支援

③学んだ内容を講師に直接質問可能  
テスト、レポートで成果が見える



## 介護職向け医療介護教育サービス



### ①介護×医療サービスを展開する弊社提供カリキュラム

医療アクセスサービスを通じて約3万件の介護現場で起きる医療相談を受けるドクターメイトが持つデータを基にコンテンツを設計  
網羅性ではなく、本当に現場に必要な介護/医療コンテンツを提供

### ②レベル別パッケージでカリキュラム設計に悩まない

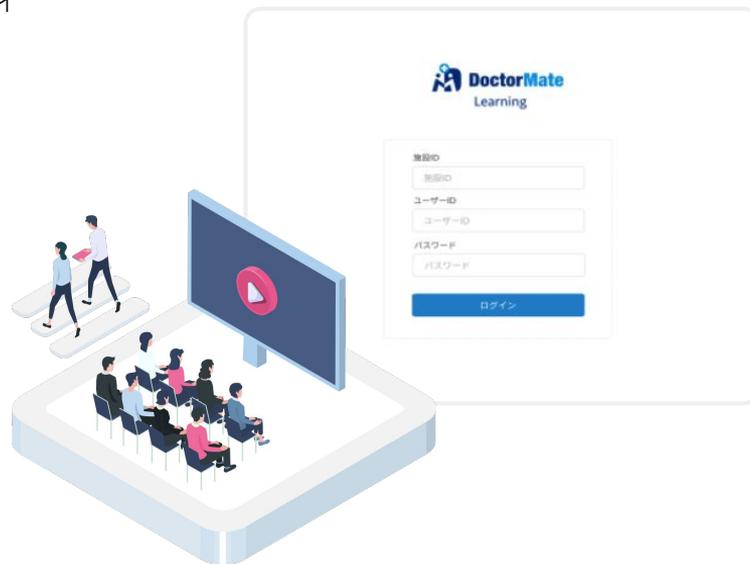
ドクターメイト監修のコンテンツカリキュラムで簡単に研修を組み立てられる  
職員それぞれの知識・経験に基づく適切な研修受講が可能

### ③管理者/職員の受講管理ができる専用ページ

次に何を受講すればわからない、職員の受講履歴が管理できない  
そういった悩みを解消する専用ページを提供、シンプルに受講管理ができる

### ④受講だけでなく疑問を解消し定着していく仕組み

研修動画を受講してわからないことがあれば気軽に専門家に質問できる  
テスト、レポートで成果の可視化も可能



## 職場でも自宅でも

インターネットさえ繋がっていれば「いつでも」「どこでも」動画視聴できます。



デスクトップPC



ノートPC



タブレット



スマートフォン

# サービス利用によって **得られる効果**

1. 介護職員の対応スキル向上（**標準化**）
2. 教育体制の仕組化（**仕組化**）
3. モチベーション向上（**職員定着・人材確保**）



# メリット 1

## 従業員の対応スキル向上

---

スタッフレベルに応じた品質の高いパッケージカリキュラムが受講可能になりスタッフの対応スキル向上、インプット結果とセットでアウトプット成果も見えるため、スタッフ個人ごとの評価がしやすくなる



## メリット 2

# 教育体制の仕組化

教育カリキュラムの設計工数削減で**教育担当者の手間を減らす**  
手順どおりに学習することで、**資格取得者水準の知識を習得**できる  
ラダーがあるから、**キャリアアップの見える化**できる

## メリット 3

# モチベーション向上



従業員の知識習得が**レベル毎にわかる仕組み**となり学習意欲向上につながる  
分からない事などが**すぐに医師に相談できる**から知識定着&実務につなげやすい  
自分の興味のある科目もフリーコンテンツから好きなだけ学ぶことができるため  
**従業員毎に興味のあるジャンルのスキルアップも簡単**



実践的な医療介護対応知識を



必須の年間研修をアップデート



プロアクティブなインプット

## 医療介護レベル別

コンテンツ (約150コンテンツ～)

### (特長)

- ・専門家が監修した介護&医療のラダーカリキュラム
- ・1～5レベルのレベルを実装  
その人に合った教育スケジュールで簡単にスキルアップができる

### (強み)

- ・信頼性の高い優良コンテンツ
- ・教育者の作業コスト削減
- ・施設全体のスキルアップ

## 法定研修

コンテンツ (12コンテンツ)

### (特長)

- ・専門家が監修した必須研修動画
- ・毎年状況に併せてアップデート

### (強み)

- ・受講レポート提出管理が一括で可能
- ・教育の仕組化
- ・報告書も一括でアウトプットできる
- ・講師などの費用もカットできる

## フリー

コンテンツ (約10コンテンツ～)

### (特長)

- ・専門家が監修した介護&医療の動画が見放題
- ・時事動画や発展知識系の動画を順次拡充予定
- ・視聴後直ぐに実務に活かせる

### (強み)

- ・自発的にスキルアップができる
- ・成長意欲の高い人材が明確化できる

## レベル別医療 コンテンツ

### コンテンツ内容

介護と医療のジャンルに分かれていて、  
テーマ毎にステップアップしていく内容  
例) レベル0は初任者研修+基礎医療

### レベルの概念

受講者に合ったレベルを選択可能  
動画レベルがアップする事でインプットできる  
幅が広がる

### 活用方法

教育担当者が受講者に合わせたカリキュラム  
を選べるから教育コストが削減できる  
基礎知識が共通化、標準化できる

項目	構成	レベル				
		1	2	3	4	5
対象		未経験、OJT	新人職員	一般職員	ユニットリーダー 介護福祉士	リーダー 介護主任 介護支援専門員
		入職～3ヶ月	3ヶ月～1年目	2年目	3年目～5年目	6年目～8年目
得たい姿		基本的なケアの知識が身につけられている	サポートを受けながらケアの提供ができる	自立してケアの提供ができる	個人の特性に合わせてケアの提供ができる	状況に応じて判断の上ケアの提供ができる
要素	企画力	利用者視点に立ち、創造力を含ませながら、ニーズに即した対応方針を考えることができることを目指す				
	コミュニケーション力	聴く力・伝える力・問う力を養うことで周囲と強調し合いながら円滑に仕事を進める事ができることを目指す				
	観察力	基礎的な介護医療知識を身につけることで、見る力・変化に気づく力を養い、最適な利用者対応/リスクヘッジができることを目指す				
	課題解決力	専門的な医療介護知識を身につけることで、周囲と協業し課題解決に向けて動けることを目指す				

テーマ例	レベル				
	1	2	3	4	5
得たい姿	基本的なケアの知識が身につけられている	サポートを受けながらケアの提供ができる	自立してケアの提供ができる	個人の特性に合わせてケアの提供ができる	状況に応じて判断の上ケアの提供ができる
褥瘡	<ul style="list-style-type: none"> <li>褥瘡とは</li> <li>褥瘡のでき方</li> <li>褥瘡の予防とその重要性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>褥瘡分類/深達度分類</li> <li>褥瘡分類/色調分類</li> <li>褥瘡の具体的防ぎ方</li> <li>背抜きの意味</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おむつ内の褥瘡に特別な対応が必要な理由</li> <li>おむつ内の褥瘡対応</li> <li>仙骨部の感染対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>褥瘡の後発部位別ポジショニング</li> <li>マットレス素材違い理解</li> <li>褥瘡に使う薬剤の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展対応ケース</li> <li>創傷被覆材の使い分け</li> </ul>
看取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>看取りとは</li> <li>元気な状態→亡くなるまでの身体変化</li> <li>老化と日常生活への影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看取り介護の実施方法</li> <li>死が迫った時期の対応</li> <li>看取り/臨死期の対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>死生観について</li> <li>担癌患者のケア</li> <li>グリーフケア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>終末期の入浴時に起こりうる身体の変化と注意点</li> <li>看取りでの口腔ケア</li> <li>チームケア</li> <li>エンゼルケア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看取り方針のケア内容</li> <li>看取りの振り返り</li> <li>医療職との連携方法</li> </ul>
認知症	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症とは</li> <li>傾聴とは</li> <li>パーソンセンタードケア</li> <li>コミュニケーション基礎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中核症状の代表事例</li> <li>周辺症状の代表事例</li> <li>周辺症状の改善事例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症アセスメント</li> <li>認知症に関する資格</li> <li>薬物療法、非薬物療法</li> <li>アパシー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的対応ケース</li> <li>原因疾患の説明</li> <li>中核、周辺症状の対応</li> <li>類似症例の理解</li> <li>精神疾病と認知症の違い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展対応ケース</li> <li>認知症改善の環境整備</li> <li>認知症投薬の理解/基礎</li> <li>家族/周辺との会話</li> </ul>



## 法定研修 コンテンツ

### コンテンツ内容

「ターミナルケア（看取り研修）」 「認知症研修」 「高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修」 「人権及びプライバシー保護」 「感染症対策」 「緊急時対応」 「事故防止（リスクマネジメント）」 「接遇」などの基礎的な必須研修項目を医師が解説

### 活用方法

毎年準備に手間のかかる必須研修が動画になるので、教育者の負担が削減  
医師の説明による分かりやすい解説で、施設の基礎知識がアップ

## フリー コンテンツ

### コンテンツ内容

介護、医療に関するテーマ毎に約500本  
全動画医師監修だから最新の医療情報  
例えば、  
円座クッションって高齢者にいいの？  
ワセリンとアズノールってどっちがいいの？

### 活用方法

自分が興味のあるテーマを好きなだけ視聴できるから、成長実感できる

特別養護老人ホームほしのさと

山口県

スタッフ人数：約110名

“

## 医療教育を簡易的に現場に浸透することができる

”



理事長 岩本様

今後介護現場における医療教育は切っても切れないものとなります。

そんな中、法人内での教育体制に頭を悩ませていた時にDスタに出会いました。

**医療教育を簡易的に現場に浸透**ことができ、さらに**質問機能があることで講義内の不明点を直接職員が質問**できる事も導入の決め手になりました。

ただ知識として学習するだけでなく、実践に活かす為の仕組みとして**学んでテストを受け、わからない点を質問**するという仕組みに非常に満足しています。

今後はこの見える化されている**学習完了状況と外部テストの仕組みを法人内のキャリアパス要件とも絡めていき、頑張っている職員の評価にも繋げていきたい**と考えています。

特別養護老人ホーム里山の家 木島平

長野県

スタッフ人数：約60名

“  
**キャリアパスというカリキュラムが組まれていることで  
 施設のボトムアップにも繋がると期待**  
 ”

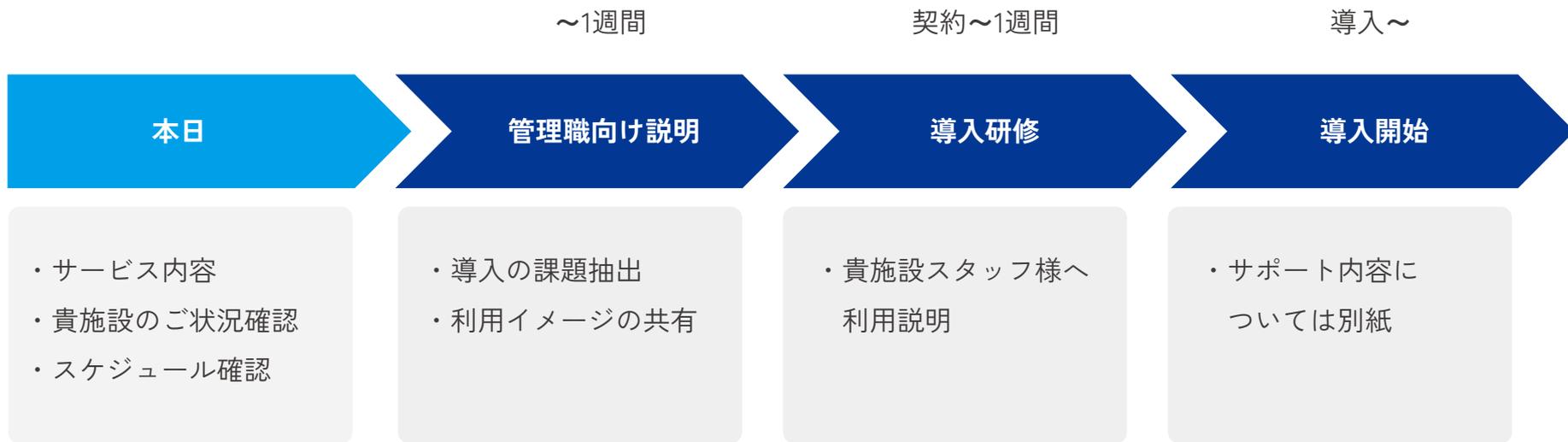


施設長 木村様

介護職員達から、「動画が短く見やすい」「自分の知識が間違っていなかったと確信できた」「現場で活かせる講義だった」「医療の勉強ができてとても為になる」など、とてもポジティブな意見が多くあがっています。体系的に学ぶ環境を用意したいと思いついたサービスも導入検討していましたが、一本あたりの動画が1時間程あり、業務内で時間の捻出が難しかった為断念した過去がありました。**Dスタは動画が5分程と短く、視聴後も2~3分でテストができるので学んだ事の復習ができる**点や、通常の研修だと一度聞いて終わりですが、後日振り返りを兼ねて何度でも視聴できる所がとても現場にとっても管理者としてもありがたいです。介護現場という特殊な環境の中で、スタッフ教育にさく時間が作れなかった中で、業務の隙間時間などで理解を深められるととてもいいサービスだと感じています。**キャリアパスというカリキュラムが組まれていることで施設のボトムアップにも繋がると期待**しています。

# 4

## 導入料金、スケジュール



料金や詳細仕様の確認は以下よりお問い合わせください

TEL **03-6822-5055**

サービスページ/お問合せURL : <https://dm-study.doctormate.co.jp/>

相談予約URL : [https://timerex.net/s/doctormate.schedule.marketing\\_f8dc/32f6dd6a](https://timerex.net/s/doctormate.schedule.marketing_f8dc/32f6dd6a)



ドクターメイト株式会社  
〒103-0004

東京都中央区東日本橋三丁目7番19号 東日本橋ロータリービル9階

<https://doctormate.co.jp/>